

2023年度ルールの大きな変更点

○ 攻める方向の変更

攻める方向が今までとは前後半逆、試合前のアップも自分のベンチ前で行うこととなります。

○ アンスポーツマンライクファール(U F)のクライテリアの変更

変更に伴うスローインファールについて

ゲーム残り2分、スローインのボールが手から離れる前にディフェンスファウルが判定されたケースにおいて以前のUF(クライテリア5)の運用が変わり、C5は今回からなくなります。

このルール変更によってアンスポとはカウントされず、通常のパーソナルファウルの記録となるため、UF2回等で失格・退場の累積にはカウントされなくなります。

処置としては、FT1本とボールポゼッションがつき、スローインはファウルが起きたところから最も近い位置からのスローイン。スローインファウルがチームファウルの5つ目以上だった場合、罰則はスローインファウルの罰則となり、FT1本とボールポゼッションとなります。

また、スローインファウルでのFTは「ファウルをされた人」が行います(TFの処置と間違いやすいので注意してください)テーブルへは「ナンバーコール、スローインファウルと声で伝え、1ショットとスローイン」とハッキリと伝えてください。

ただし、通常のUF(C2など)はこの時間帯でも、事象の事実に沿ってUFの判定を行なってください。

○ E O G・E O Q 時におけるタイマーの考え方について

「ほとんど同時」

↓

「ファウルが先と判断した場合、必ず時計に時間が残る(最低0.1秒)」

※IRSがある環境であれば簡単ですが、IRSがない時に非常に難しいケースもあります。

「ほとんど同時」を起源として考えているため、時計に残す時間は0.2秒以下を想定しています。0.3秒以上残るような場合、これは明らかにブザーよりも先だったと言えるケースを想定しているため、心証のある時間をもっておけるように準備をお願いします。

○ トスアップ時のO O B 時のアローの方向について

最初のトスアップでボールがコントロールされないままOOBになってしまったケースなどで、今回から、そのスローインのボールを与えられたチームが最初にボールをコントロールしたことになるため、アローの向きがシンプルに決定されることになりました

必ず確認をし、選手への伝達を願います。